

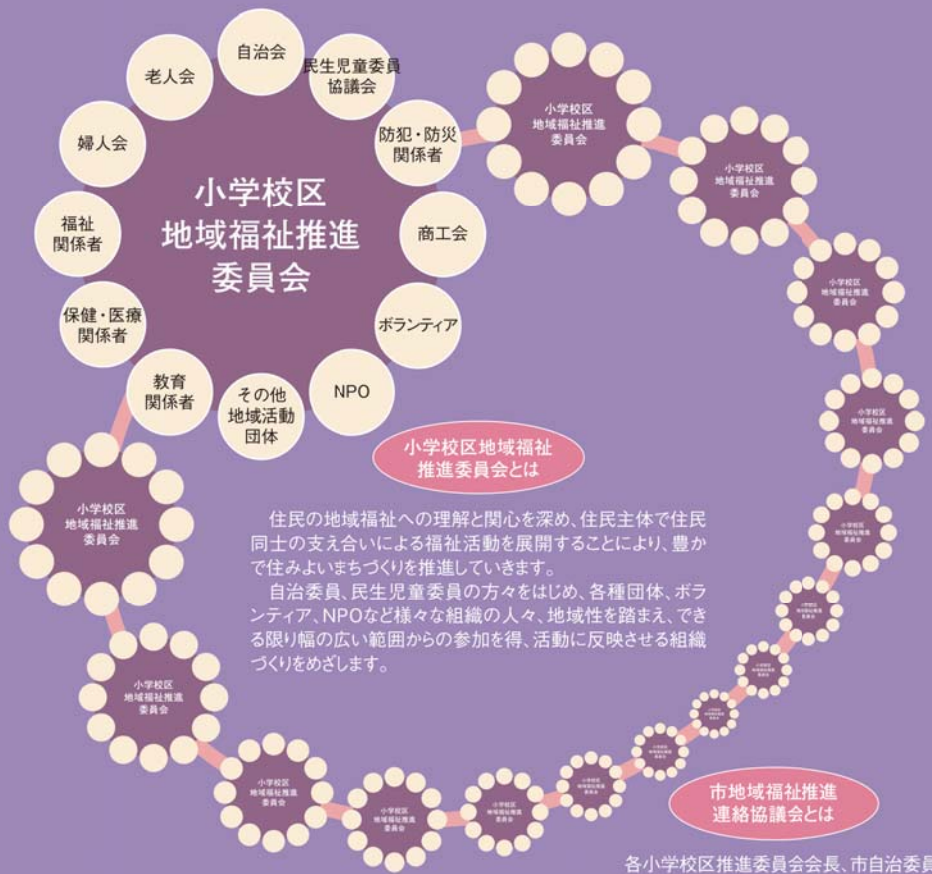
榎原市第3期地域福祉推進計画

概要版

みんなでつくる
健やかに安心して心豊かに暮らせるまち



榎原市地域福祉推進のための組織イメージ図



小学校区地域福祉推進委員会とは

住民の地域福祉への理解と関心を深め、住民主体で住民同士の支え合いによる福祉活動を展開することにより、豊かで住みよいまちづくりを推進していきます。
自治委員、民生児童委員の方々をはじめ、各種団体、ボランティア、NPOなど様々な組織の人々、地域性を踏まえ、できる限り幅の広い範囲からの参加を得、活動に反映させる組織づくりをめざします。

市地域福祉推進連絡協議会とは

各小学校区推進委員会会長、市自治委員連合会会長、市民生児童委員協議会会長、市福祉部長、市社協常務理事で構成する会です。
16小学校区推進委員会相互間及び関係機関との連絡調整、情報の共有及びその連携を図ることにより、榎原市における地域福祉を推進することを目的としています。

榎原市第3期地域福祉推進計画 概要版

平成26年(2014年)3月

編集・発行 榎原市

〒634-8586 奈良県榎原市八木町1丁目1番18号
TEL 0744-22-4001 FAX 0744-25-7857
ホームページ <http://www.city.kashihara.nara.jp/>

社会福祉法人 榎原市社会福祉協議会 榎原市地域福祉推進連絡協議会

〒634-0065 奈良県榎原市畝傍町9番地の1
(榎原市保健福祉センター南館3階)
TEL 0744-29-3880 FAX 0744-29-4400
ホームページ <http://www.5.ocn.ne.jp/~k-ikiiki/>

平成26年(2014年)3月

榎原市
榎原市社会福祉協議会
榎原市地域福祉推進連絡協議会



榑原市長
榑原市社会福祉協議会会長
森下 豊

榑原市第3期地域福祉推進計画の策定にあたって

近年、少子高齢化や核家族化が進展し、生活様式や価値観が多様化するともに、地域のつながりが希薄になるなど、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しております。こうした中で、地域住民の福祉ニーズは、複雑・多様化しており、従来の公的な福祉サービスだけで問題を解決することは難しくなっています。これからの社会においては、住み慣れた地域の中で、行政だけではなく、地域住民や各種団体などが連携を図り、協働して「地域福祉」を推進することが必要です。

本市では、平成16年度に“みんなでつくる 健やかで安心して心豊かに暮らせるまち”を理念とした「榑原市第1期地域福祉推進計画」を策定し、榑原市、榑原市社会福祉協議会と榑原市地域福祉推進連絡協議会の三者が連携し、地域福祉のまちづくりを進めてまいりました。

また、平成20年度に策定しました「榑原市第2期地域福祉推進計画」は、各小学校区地域福祉推進委員会を中心とした地域住民の多様な取組みをさらに充実させることを目標に掲げ、少子高齢化、地域住民の交流促進、防犯・防災意識の向上など様々な課題への取組みを進めております。

そして、「榑原市第3期地域福祉推進計画」は、安全で安心できるコミュニティをより一層育み、第1期計画からの理念であります“みんなでつくる 健やかで安心して心豊かに暮らせるまち”を次世代に引き継いでいくことを目標に掲げ、策定いたしました。

今後、地域の皆さまや自治会、民生児童委員協議会など各種団体と榑原市及び榑原市社会福祉協議会が連携し、地域福祉の推進に向けて計画的に取り組んでいく必要がありますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、この計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました策定委員会の委員の方々をはじめ、地域福祉推進連絡協議会や各小学校区地域福祉推進委員会の皆さま、アンケート調査、パブリックコメント等で多くの貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆さま並びに関係者各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成26年3月



榑原市地域福祉推進連絡協議会会長
榑原市自治委員連合会会長
葛井 潔

地域を代表して「共助、絆」が中心となった地域づくりをめざして

地域におけるつながりづくりを目指して、榑原市第1期地域福祉推進計画が策定されてから10年が経とうとしています。

その間、地域では、市内16小学校区において、住民(自治委員・民生児童委員・各種団体・ボランティア・NPO等)による小学校区地域福祉推進委員会が設置され、様々な地域福祉活動を行ってまいりました。推進委員会の活動は、皆様のおかげをもちまして、益々活発になってきておりますが、少子高齢化、人口減少、格差社会、無縁社会、高齢者等の孤立死や虐待など社会における深刻な生活課題は広がっております。

また、平成23年には東日本大震災という未曾有の大災害が発生し、同年9月には奈良県内におきましても大雨による地すべりによって尊い命が失われております。こうした災害時において少しでも被害を減少させるためには、地域住民同士が日頃から助け合い、支え合っていくこと、すなわち地域住民による「自助、共助、絆」が何よりも大切であると思っております。

公的なサービスだけではなく、地域住民、自治委員、民生児童委員、推進委員会等地域活動団体の皆様の連携、「共助、絆」が中心となった地域づくりの取り組みが絶対不可欠であります。

この度、榑原市における地域福祉活動の定着化と更なる活性化、課題解決に対応していくために「榑原市第3期地域福祉推進計画」を作成いたしました。この計画は、榑原市における、次の5年間の地域福祉活動の方向性を示したものです。皆様とともに、地域を見つめ直し、一歩一歩着実に進んでまいりたいと思っております。今後とも地域住民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、各地域におかれましては、一層のご協力を願ひ、共に更なる発展を祈念し第3期計画策定にあたり、ご尽力賜りましたお礼と今後の推進へのお願いをいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

平成26年3月

1 計画策定の背景

～榑原市第3期地域福祉推進計画策定の趣旨～

榑原市では、平成15年度から16年度にかけて、“みんなでつくる 健やかで安心して心豊かに暮らせるまち”を理念とした榑原市地域福祉推進計画(以下「第1期計画」という。)の策定とともに、市内16小学校区ごとの地域福祉推進委員会(以下「推進委員会」という。)が設立され、榑原市、榑原市社会福祉協議会(以下「市社協」という。)及び榑原市地域福祉推進連絡協議会(以下「連絡協議会」という。)の三者が連携しながら地域福祉のまちづくりを進めてきました。

平成20年度に策定しました榑原市第2期地域福祉推進計画(以下「第2期計画」という。)は、推進委員会を中心とした地域住民の多様な取組みをさらに充実させることを目標に掲げ、少子高齢化、地域住民の交流促進、防犯・防災意識の向上など様々な課題への取組みを進めました。

また、この5年間で社会経済環境の激しい変化によって地域社会においても様々な影響を受け、少子高齢化の進行や、人口の減少、一人暮らし高齢者の増加、災害への不安など、地域において新たな課題が生まれてきました。

特に、平成23年3月には東日本大震災が起り、安全・安心に対する国民の期待が増すとともに、地域の絆をもう一度見直す機運が高まっています。

榑原市第3期地域福祉推進計画(以下「第3期計画」という。)は、このような榑原市を取り巻く社会情勢の変化に対応しながら、安全で安心できるコミュニティをより一層育み、地域住民が互いに“みんなでつくる 健やかで安心して心豊かに暮らせるまち”を次世代に引き継いでいくことを目標に策定するものです。

2 計画の位置づけと計画期間

～地域福祉推進計画の根拠となる関連法を踏まえ～

本計画は、榑原市第3次総合計画の理念を踏まえ、榑原市が策定する「地域福祉計画」、市社協が策定する「地域福祉活動計画」、連絡協議会が策定する「地域福祉の活動方針」を一体的に策定し、地域福祉推進のための基本計画として位置づけます。計画期間は、平成26年(2014年)度から平成30年(2018年)度までの5年とします。

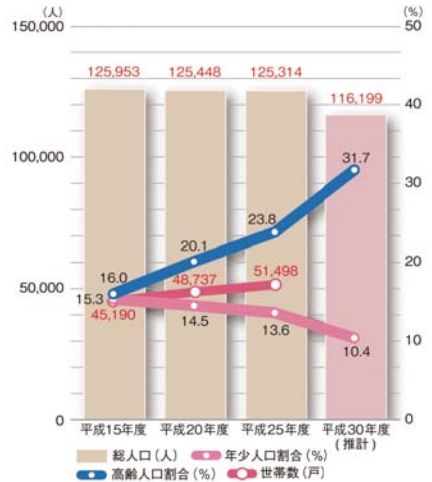


3 橿原市の地域福祉を取り巻く現状

(1) 人口の状況

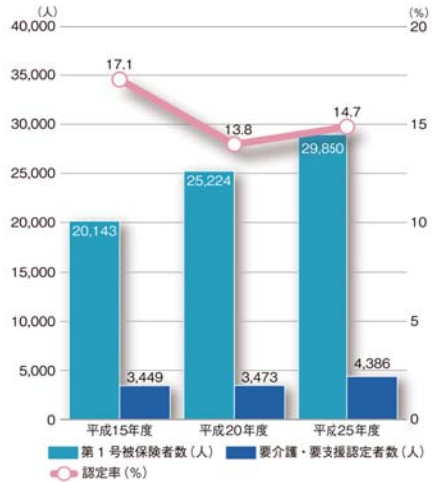
本市の総人口は、平成15年度で125,953人、平成20年度で125,448人とこれまでの微増から減少傾向に転じ、平成25年度では125,314人になっています。

また、14歳以下の年少人口は減少し、65歳以上の高齢人口は年々増加しており、第2期計画からの5年間で少子高齢化が一層進んでいます。



(2) 要介護・要支援認定者の状況

要介護・要支援認定者数は高齢化に伴い、介護保険制度開始の平成12年度以降は年々増加してきました。その後、予防重視型サービス体系への制度改正もあり認定率が下がりましたが、平成25年度では認定率は14.7%となっています。



(3) 障害者手帳所持者の状況

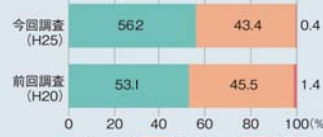
障害者手帳を持っている障がい者の人数は年々増えており、平成15年度では4,141人、平成20年度では4,935人、平成25年度では5,776人となっています。これは橿原市の総人口の約5%にあたります。



地域福祉に関する市民アンケート調査結果から

地域福祉の認知度

問 あなたはこのアンケートにご回答される以前に「地域福祉」という言葉を知っていましたか。



「知っていた」が56.2%で前回に比べやや増えましたが、今回も約4割の市民が「知らない」と答えており、今後さらに地域福祉の情報発信や活動の周知を図る必要があります。

近所付き合いの頻度

問 あなたはご近所との付き合いをどの程度していますか。



「あいさつをする程度」が最も高くなっており、「ほとんどしていない」と合わせると約4割は近所付き合いをあまりしていないという結果でした。前回と比較すると、「何か困ったときに助け合う親しい人がある」と「お互いに助け合う程度の人がある」の合計はやや減少し、親しい隣人がいる人の割合が減ってきています。

災害時の避難

問 地震など災害が発生したときあなたは一人で避難できますか。



「災害時に避難できるかどうか」については、「自分一人で避難できる」は約9割となっている一方で、「同居家族や近所の人などの助けがあれば避難できる」と「避難できない」の合計は約1割という結果でした。

ふだん参加している地域活動

問 あなたはふだん地域のどのような活動に参加していますか。



「参加していない」が最も高く前回と同様に約4割を占めています。次いで「自治会、老人会、婦人会活動」、「盆踊り、祭り、伝統行事」の順になり、「子ども会、PTAなどの活動」、「防犯・防災、交通安全活動」など様々な団体によって地域活動が展開されています。

福祉サービスの情報源

問 あなたは福祉サービスに関する情報をどこから得ていますか。



前回と同様に約7割が「市広報」で、これに次ぐのは「知人、友人」、「自治会」となっています。今回の調査ではこれに「インターネット」と続いたことから、福祉サービスに関する情報を得る手段が多様化してきていることが分かります。

4 第2期地域福祉推進計画の成果と評価 ～第2期計画の成果と評価について下記の項目に整理します～

(1)一人ひとりが輝き躍動する元気なまちづくり ～多様な地域福祉活動の活性化につながったか～

地域福祉活動について、各推進委員会では地域性豊かで多様な「地域独自の活動」がみられました。一方で、市民アンケート調査結果から、市民の地域活動への参加率は前回調査より高くなっており、その多くは自治会活動、老人会活動等となっています。

地域福祉の担い手となる人材確保・育成については、自治会活動等との連携によって人材を確保する地域もありますが、多くの地域では担い手の高齢化、固定化が進んでいます。

(2)みんなで築きともに楽しむふれあいのまちづくり ～地域福祉のネットワークの構築と連携強化につながったか～

各推進委員会では今後の活動指針としての「地域福祉行動計画」の策定を進めました。また、多くの推進委員会では自治会、民生児童委員協議会等との連携により、活発な地域福祉活動が行われていますが、今後、さらなる活動の活性化のために、学校施設など地域の既存施設(資源)の活用を図る必要があります。

(3)だれもが快適に暮らしやすいまちづくり ～地域の課題が十分に把握できるようになったか～

地域に関する様々な行政情報については地域住民に十分に伝わっておらず、住民の地域活動への関心が高まらない要因の一つと考えられます。今後、さらに活発な地域福祉活動を促進するために、市、市社協から地域への情報発信力の強化とともに、だれもが地域や暮らしについて、気軽に利用できる身近な相談窓口の充実が求められています。

また、子どもたちの見守り活動は16小学校区のすべての地域で精力的に行われ、子どもたちの行動などに成果が出ています。

さらに、防犯活動、防災訓練も盛んに行われ、一定の成果がみられました。公共施設のバリアフリー化や要援護者への救援体制の整備等、高齢者、障がい者などの安全確保に向けた活動も積極的に進めてきました。

5 第3期地域福祉推進計画の課題のまとめ ～第3期計画の課題について下記の項目に整理します～

(1)地域で支え合うしくみづくりが求められています。

今回のアンケート調査結果からは、市民の地域福祉活動に対する関心が薄くなっており、一人暮らし高齢者や高齢者世帯の増加とあいまって「地域の支え合い」のコミュニティ意識の希薄化がさらに進むことが考えられます。

また、地域福祉活動の担い手の高齢化、固定化も進んでおり、今後、地域福祉活動が目的とする支え合いのある地域づくりを進めるため、市、市社協、推進委員会の連携によって、担い手の確保・育成及び参加促進をより一層進める必要があります。

(2)地域とつながるしくみづくりが求められています。

地域福祉活動は、これまで推進委員会をはじめ自治会や民生児童委員協議会などの各種地域活動団体が担い手となって地域での多様な活動を進めています。

しかし、各種地域活動団体との連携が推進委員会すべてにおいては、必ずしもうまくいっていません。このため、地域福祉の目的や趣旨を各種地域活動団体と共有できるよう、つながりのある地域福祉のネットワークの構築を進めるとともに、活動の場として公共施設の有効活用を図る必要があります。

(3)わかりやすい情報提供のしくみづくりが求められています。

今回のアンケート調査結果からも、地域住民にとっては地域福祉及び福祉全般に関する情報を得る機会がまだまだ少ない状況です。

今後は、だれでも、いつでも、どこでもわかりやすい地域福祉や地域の情報提供を行っていくことが求められています。さらに、福祉全般や暮らし、健康づくり等に関する悩みや問題について気軽に利用できる身近な相談窓口サービスを充実させる必要があります。

(4)安全・安心に暮らせるしくみづくりが求められています。

安全で安心して暮らせる、快適な生活環境をだれもが願っています。中でも、近年の多発する災害や犯罪に対して、住民自らが主体となって防犯・防災体制の構築に取り組むことが求められます。

また、増加する一人暮らし高齢者や高齢者世帯等要援護者の見守り体制の強化、子どもの日常生活における安全対策を進めるとともに、高齢者、障がい者等が安全に暮らせるよう公共施設等のバリアフリー化を一層進める必要があります。

6 第3期計画推進のために

第3期計画推進のしくみづくり

第3期計画を推進するにあたり、市、市社協の連携のもとに16小学校区推進委員会の活動支援の充実に努めます。

また、市、市社協、推進委員会それぞれの計画推進のしくみづくりに努めます。

1 市の第3期計画推進のしくみづくり

地域福祉を推進するために多岐にわたっている関係各課の連携と協力体制が十分に機能できるよう努めます。

また、推進委員会及び自治会、民生児童委員協議会など各種活動団体との連携に努めます。

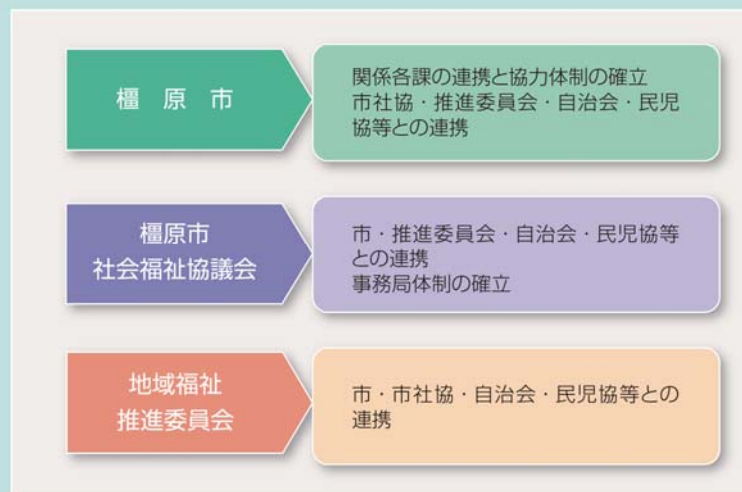
2 市社協の第3期計画推進のしくみづくり

地域福祉を推進するために推進委員会及び自治会、民生児童委員協議会など各種活動団体との連携に努めます。

また、職員の資質の向上・能力の開発を行い、事務局の活性化を図るとともに、事務局体制の確立に努めます。

3 推進委員会の第3期計画推進のしくみづくり

地域福祉を推進するために自治会、民生児童委員協議会など各種活動団体の協力を求めるとともに、連携に努めます。



7 檀原市第3期地域福祉推進計画に求められるもの ～理念を引き継ぐ計画とします～

第3期計画は、第2期計画の理念を引き継ぐこととし、地域福祉活動を推進する計画とします。

【理念】

**みんなでつくる
健やかで安心して
心豊かに暮らせるまち**

第1期計画では“地域福祉を根付かせる計画”と位置づけ、16小学校区すべてに推進委員会を設立しました。

第2期計画では“地域福祉の裾野を広げる計画”と位置づけ、地域住民の参加を得て、活動を広げました。

第3期計画は“地域福祉を担う次世代との連携計画”と位置づけ、これからの檀原市の地域福祉を担う人材の確保と育成を図ります。

そして、子どもから若者、高齢者までだれもが地域福祉活動に参加できるよう、地域福祉への関心を高め、活動の輪をさらに広げるとともに、「安全で安心できる地域づくり」を進め、住民がともに支え合いながら心豊かに暮らせる福祉のまちづくりをめざして、基本目標の実現に取り組みます。

8 計画の基本目標 ～4つの基本目標を掲げます～

本計画の理念の実現を図るため、第2期計画で掲げた3つの基本目標に「安全で安心できるやさしいまちづくり」を加えた4つの基本目標を掲げます。

【課題】

【基本目標】

地域で支え合うしくみが必要です

一人ひとりが輝き躍動する
元気なまちづくり

地域とつながるしくみが必要です

みんなで築きともに楽しむ
ふれあいのまちづくり

わかりやすい情報提供の
しくみが必要です

だれもが快適に暮らせる
住み心地のよいまちづくり

安全・安心に暮らせるしくみが
必要です

安全で安心できる
やさしいまちづくり



ふれあい交流会（耳成）



ミニサロン（耳成南）



ふれあいカラオケ大会（鶴公）



防災訓練（香久山）



ふれあいサロン（飯傍北）



敬老の集い（白檀南）



子どもの見守り活動（真菅）



地域福祉運動会（真菅北）



ふれあい交流会（耳成西）



ふれあいサロン（晩成）



しめなわ作り（飯傍東）



ウォーキング（飯傍南）



高齢者新春ふれあい交流会（白檀北）



ふれあいサロン（今井）



青色防犯パトロール（金橋）



ふれあいin新沢（新沢）

9 橿原市第3期地域福祉推進計画の取組み体系図



橿原市の取組み	橿原市社会福祉協議会の取組み	地域福祉推進委員会の取組み
(1) 地域コミュニティの活性化		
<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会への活動支援 各種団体への活動支援 だれもが地域活動に参加しやすい体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会への活動支援 地域福祉推進連絡協議会との連携と活動支援 だれもが集える交流の場の開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> だれもが参加しやすい活動の企画・実施 地域福祉推進連絡協議会の活性化
(2) 地域福祉を担う人材の確保・育成		
<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉を担う人材の確保・育成 学校関係における福祉に関する学習機会の提供 「市民活動交流広場」の機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の支援 福祉ボランティアの養成及び普及・啓発 災害ボランティアの育成等 福祉教育の推進 認知症サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代の参加促進 地域におけるリーダーの発掘・育成
(1) 地域活動との連携の促進		
<ul style="list-style-type: none"> 地域活動団体相互の交流促進 	<ul style="list-style-type: none"> 市社協構成団体の連携・協力体制の強化 地域活動団体相互の交流促進 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との交流促進 地域イベントとの連携促進
(2) 既存施設（資源）の活用		
<ul style="list-style-type: none"> 既存施設（資源）の活用に向けた働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設（資源）の利用に向けた提案 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設（資源）の活用
(1) わかりやすい情報の発信		
<ul style="list-style-type: none"> 福祉に関する広報の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉に関する広報の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 広報の充実
(2) 利用しやすい相談体制の充実		
<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい相談体制の充実 各相談窓口の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい相談窓口機能の充実・強化 	<ul style="list-style-type: none"> 相談しやすいしくみづくり
(3) 健康で生きがいのある暮らしの実現		
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりへの支援 生涯学習活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 健康・生きがいづくり活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり活動の推進 生きがいづくり活動の推進
(1) 安心して快適な生活環境の整備		
<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスの充実 防犯・防災体制の強化 環境活動への支援 バリアフリー化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅生活を支援するサービスの推進と充実 防犯・防災活動への支援 環境活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯・防災活動への参加・協力 環境活動への取組み
(2) 要援護者支援体制の確立		
<ul style="list-style-type: none"> 要援護者支援体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の把握と見守り活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 要援護者の把握と見守り活動

耳成小学校区 愛称：スマイルみみなし会

目標

話しあおうよ。みんなしてより透明な活気あるまちづくりへ～わがまち再発見～

<活動カレンダー>

- 4月 葛本地区サロン
- 5月 総会、東竹田地区サロン
- 6月 十市団地サロン
- 7月 七夕まつり、葛美サロン
- 8月 新賀地区サロン
- 9月 中町地区サロン
- 10月 耳成山ハイキング、葛本地区サロン
- 11月 ふれあい交流会、東竹田地区サロン
- 12月 クリスマス会、葛本地区サロン
- 1月 新賀地区サロン、役員会
- 2月 葛本地区サロン
- 3月 十市団地サロン

<短期目標>

- ▶推進委員会のPRの促進
- ▶地域福祉行動計画の作成
- ▶校区内のすべての自治会（12地区）にリーダーとサロナーディネーターの育成を図る。

<中期目標>

- ▶推進委員会の活動を通して住民交流の深化を促進
- ▶地域内での人材の育成を図る。
- ▶他校区の推進委員会との交流
- ▶防犯・防災のための諸施策と活動



△クリスマス会

耳成南小学校区 愛称：耳成南・地域福祉の会

目標

耳成の山ふところにおいでかれてみんなやさしく心豊かなまちづくり

<活動カレンダー>

- 4月 総会、部会で年間計画を審議
- 7月 街頭で防犯キャンペーン、ミニサロン開催
- 9月 街頭で防犯キャンペーン、ミニサロン開催
- 10月 ふれあい交流会開催
- 11月 街頭で防犯キャンペーン、ミニサロン開催
- 12月 児童・園児と高齢者とのクリスマス交歓会を共催
- 2月 ミニサロン開催
- 3月 街頭で防犯キャンペーン

<短期目標>

- ▶一人暮らし高齢者の緊急時対応
- ▶自治会、老人会との協力体制の強化
- ▶自治会等他の団体の活動との連携・すみ分け
- ▶子どもやお年寄りとのふれあい活動の実施
- ▶青色防犯パトロール隊との協力体制の強化

<中期目標>

- ▶自治会に地域福祉部門を設置
- ▶防災活動のネットワーク化（災害時の応援、機材の貸借など）
- ▶日常生活の簡単な支援の実施
- ▶地域福祉の担い手の発掘・育成
- ▶郷土意識の醸成



△ミニサロン

鴨公小学校区 愛称：鴨公まほろば会

目標

古い京に生まれ 未来に広げよう 交流の輪

<活動カレンダー>

- 4月 三役会議
- 5月 三役会議
- 6月 総会
- 7月 三役会議
- 9月 ふれあい交流会
- 12月 三役会議
- 2月 ふれあいカラオケ大会
- 3月 三役会議

<短期目標>

- ▶住民交流イベントの開催
- ▶地域の団体間の連携
- ▶藤原京の世界遺産登録への協力

<中期目標>

- ▶継続した広報紙の発行
- ▶ふれあいサロンの開催、コーディネーターの養成
- ▶地域福祉行動計画の作成



△青色防犯パトロールのみなさん

香久山小学校区 愛称：香久山和楽路会

目標

思いやる心、豊かな自然 地域を愛し、楽しく暮らそう “まほろばの里”

<活動カレンダー>

- 4月 総合型スポーツクラブ運動会協賛
- 5月 総会、屋外サロン
- 6月 あいさつ運動看板設置（出合地区）
- 7月 小学校謝恩交流会（1学期終了日）
- 8月 軽スポーツ大会
- 9月 ふれあいカラオケ大会
- 10月 ヒックメイツ祭り協賛
- 11月 公民館文化祭に参加
- 12月 防災訓練（後援）
- 1月 祝新春の集い（映画鑑賞等）
- 2月 節分行事の企画・実施
- 3月 フラワーアレンジメント実習（ふれあいサロン）

<短期目標>

- ▶組織間の連携
- ▶人材の育成
- ▶ホームシアターの活用
- ▶小学生とのマラソン大会の実現
- ▶各団体の活動PR

<中期目標>

- ▶リーダー・活動者の募集、体制づくり
- ▶子育てフェスタの開催
- ▶子どもの登下校時の見守り活動
- ▶ウォーキング（歴史探索歩こう会）の実現
- ▶明日香、藤原京、大和三山の環境保全活動（世界遺産登録に向けて）



△消防訓練

耳成西小学校区 愛称：耳成西かがやき会

目標

心が通じ合う 安全・安心のまちづくり

<活動カレンダー>

- 4月 総会
- 5月 役員会
- 7月 役員会
- 8月 福祉部会
- 9月 役員会
- 10月 ふれあい交流会
- 11月 役員会
- 12月 広報委員会
- 1月 役員会
- 2月 カラオケ1日喫茶
- 3月 役員会



△ふれあい交流会

<短期目標>

- ▶弱くなっても遊んでいる子どもに声かけを行う。
- ▶地域のイベントへ幼稚園児、小・中学生への出演依頼
- ▶各自治会と連携して防犯に関する出前講座の開催
- ▶広報紙への住民からの投稿記事の掲載
- ▶地域ウォークの開催

<中期目標>

- ▶安全な通学路を要請する取組み
- ▶若年層への参加呼びかけの工夫
- ▶防犯に対する情報紙の配布
- ▶継続した広報活動の実施

晩成小学校区 愛称：晩成ふれあい

目標

心身共に健康で互いに支えあうまちづくり

<活動カレンダー>

- 4月 総会
- 8月 愛宕祭への参加
- 10月 八木地区成人学級への協力
- 12月 合同防災訓練への参加
- 1月 八木地区子ども教室のクリスマス会に協力
- 2月 老人会（5団体）の新年会に協力
- 3月 ふれあい交流会
- 3月 研修の実施

<短期目標>

- ▶公民館、札の辻交流館、学校、ナビプラザ等地域にある施設の活用
- ▶広報紙の発行
- ▶健康や介護等に関する講座への参加、開催
- ▶ご近所声かけ・あいさつ運動の実施

<中期目標>

- ▶防災運動会などユニークな活動の実施
- ▶公民館に相談窓口の設置
- ▶子育て支援「地域寺子屋」の開催
- ▶ご近所助け合い運動の実施



△子ども教室（江州音頭の練習）

畝傍東小学校区 愛称：畝傍東ふれあい会

目標

やればできる!! 明るいきよいふれあいのある街づくり～誰もが大好きなまち畝傍東～

<活動カレンダー>

- 4月 総会、講演会
- 6月 ふれあい会
- 6月 ふれあい会
- 9月 ふれあい会
- 10月 ふれあいウォーキング
- 11月 ふれあい交流会
- 12月 しめなわ作り教室
- 2月 ふれあい会

<短期目標>

- ▶新旧住民との交流促進
- ▶ふれあい会だより（年5回発行）の継続
- ▶地域における各種活動団体との連携

<中期目標>

- ▶自治会や民生委員との連携
- ▶幼児から高齢者まで地域住民への広報と声かけ



△しめなわ作り教室

畝傍南小学校区 愛称：畝傍南ふれあい会

目標

人とふれあい 自然とふれあう 美しい歴史の町をはぐくもう

<活動カレンダー>

- 4月 屋外サロン
- 5月 総会
- 6月 地域福祉推進委員会会議
- 8月 ふれあい交流会（小学生のプラスバンド等）
- 9月 送迎ボランティア養成講座に参加
- 12月 幼稚園児との交流（おもちゃつき、クリスマス会）
- 1月 保育園児との交流
- 2月 小学生との伝承遊び（世代間交流）
- 3月 ふれあい交流会（ウォーキング）

<短期目標>

- ▶ホームページの開設
- ▶ふれあいサロン活動の充実
- ▶小学校と連携した世代間交流活動
- ▶地域のイベントに高齢者の参加を促す。
- ▶畝傍地区内の3校区の交流
- ▶あいさつ運動を更に啓蒙・啓発する。

<中期目標>

- ▶人の命を大切にする地域づくり
- ▶「向こう三軒両隣」の支え合い
- ▶幼稚園・小学校時からの仲間づくり
- ▶畝傍地区内の3校区における交流を更に進める。
- ▶防災・減災を見据えた活動



△送迎ボランティア

畝傍北小学校区 愛称：畝傍北ふれあい会



老いも若きも 気軽に声をかけあい 明るいまちづくり
町づくり～ふるさとのおいがるまちへ～

<活動カレンダー>

- 4月 屋外サロン
- 5月 総会
- 7月 ふれあい会だより発行
- 9月 ふれあいカラオケ大会、役員研修会
- 11月 ふれあい交流会
ふれあい会だより発行
- 12月 クリスマス会（ふれあいサロン）
- 1月 役員新年会
- 3月 ふれあいウォーキング、ふれあい会だより発行



△ふれあいウォーキング

<短期目標>

- ▶校区目標の浸透
- ▶ふれあいサロン活動の充実
- ▶地域福祉の啓発、広報の充実などに取り組む。
- ▶親子で楽しむ行事の開催

<中期目標>

- ▶ホームページの利用
- ▶若い人の参加をめざす。

白樺南小学校区 愛称：白樺地域福祉推進委員会



未来に育む活力を！～あした しらかし 美しい街～

<活動カレンダー>

- 4月 さくら祭り
- 5月 こいのぼり
- 6月 総会、講演会
- 7月 高取川クリーン作戦
- 8月 夏祭り
- 9月 敬老の集い
- 11月 文化祭、防災訓練
- 12月 新春迎合モニュメント設置、年末地域巡視
- 1月 新春高齢者ふれあい交流会
新春ファミリーほっとマラソン
とんど
- 3月 ひなまつり



△夏祭り

<短期目標>

- ▶災害時要援護者登録者制度の活用啓発
- ▶緊急時医療情報バックの設置推進
- ▶地域ふれあいイベントの継続実施
- ▶高齢化に対応した安心安全の確保
- ▶防犯パトロールの強化
- ▶交通安全意識の向上

<中期目標>

- ▶高齢者への安否確認、見守り活動推進
- ▶若い世代や子どもが参加しやすい活動の充実
- ▶高齢化を考慮した活動の再考、効率性の向上
- ▶防災・減災を見据えた活動

真菅小学校区 愛称：真菅地域福祉推進委員会



ご近所パワーで太いきずなな住みよいまちづくり
～人が優しく、気軽に話せるまちへ～

<活動カレンダー>

- 4月 総会、見守り・立哨指導開始
- 5月 第1回推進委員会（年間事業計画提出）、広報紙発行
- 6月 主事業の実行についての打合せ
- 7月 ふれあい交流会、防犯パトロール（～8月）
- 9月 第2回推進委員会
- 10月 ふれあいウォーク準備会
- 11月 ふれあいウォーク開催
- 12月 役員部会合同会議
- 1月 役員会議
- 2月 安全・安心勉強会、広報紙発行
- 3月 第3回推進委員会



△ふれあいウォーク

<短期目標>

- ▶公園や通学路に花を植え、周辺環境の整備
- ▶介護予防としてウォークやラジオ体操の実施
- ▶コーラスやカラオケにより交流を深める。
- ▶町内会でプロジェクターによる写真会の実施

<中期目標>

- ▶各方面との連携と情報交換
- ▶現行のイベントのPRとコミュニティの活性化
- ▶人材の発掘と見守り活動の推進
- ▶がんばり隊の活用
- ▶近所の高齢者の買い物支援

真菅北小学校区 愛称：さわやか会



笑顔であいさつ 心つながる夢の郷

<活動カレンダー>

- 4月 桜探勝ウォーキング、総会
- 7月 笑顔で挨拶だより発行、七夕祭り支援
- 9月 小学校運動会時の日除けネット設置
- 10月 地域福祉運動会
- 12月 ふれあい交流会、餅つき大会支援
- 1月 笑顔で挨拶だより発行
新年会（自治会・民生児童委員・各種団体合同）



△日除けネット設置（小学校運動会）

<短期目標>

- ▶子どもの見守り活動の拡大
- ▶生きがいづくりの充実（ウォーキングやふれあい交流会）
- ▶地域交流の拡大、各種団体との協力によるイベントの実施
- ▶年2回の広報紙の発行

<中期目標>

- ▶地域の各種団体の協力体制の整備
- ▶後継者の育成
- ▶地域を活性化するための環境の整備

白樺北小学校区 愛称：白樺地域福祉推進委員会



未来に育む活力を！～あした しらかし 美しい街～

<活動カレンダー>

- 4月 さくら祭り
- 5月 こいのぼり
- 6月 総会、講演会
- 7月 高取川クリーン作戦
- 8月 夏祭り
- 9月 敬老の集い
- 11月 文化祭、防災訓練
- 12月 新春迎合モニュメント設置、年末地域巡視
- 1月 新春高齢者ふれあい交流会
新春ファミリーほっとマラソン
とんど
- 3月 ひなまつり



△敬老の集い

<短期目標>

- ▶災害時要援護者登録者制度の活用啓発
- ▶緊急時医療情報バックの設置推進
- ▶地域ふれあいイベントの継続実施
- ▶高齢化に対応した安心安全の確保
- ▶防犯パトロールの強化
- ▶交通安全意識の向上

<中期目標>

- ▶高齢者への安否確認、見守り活動推進
- ▶若い世代や子どもが参加しやすい活動の充実
- ▶高齢化を考慮した活動の再考、効率性の向上
- ▶防災・減災を見据えた活動

今井小学校区 愛称：今井校区福祉推進委員会



人が元氣 心が豊か 癒しある歴史のまち

<活動カレンダー>

- 4月 屋外サロン
- 5月 今井六斎市への参加、役員会議
- 6月 総会
- 9月 役員会議
- 11月 ふれあい交流会
- 12月 広報紙「しあわせだより」発行、役員会議
- 2月 役員会議
- 3月 ふれあい歩こう会



△ふれあい交流会

<短期目標>

- ▶ふれあいサロンの充実
- ▶広報活動への啓発実施
- ▶各団体との連携促進
- ▶人材の発掘・育成

<中期目標>

- ▶高齢者の見守り活動の推進
- ▶空き家活用に取り組む。
- ▶地域福祉行動計画の作成

金橋小学校区 愛称：希望のまち金橋オアシス会



あいさつが響きわたる豊かな交流のまちづくり
～夢と希望の新しいまち“金橋”～

<活動カレンダー>

- 4月 総会、夢と希望の新しいまちづくり懇談会
- 5月 推進委員地域代表会議
- 6月 ウォーキング&クリーンキャンペーン
地域別編引き大会
- 7月 自主防災防犯リーダー研修会
- 8月 校区民祭
- 9月 A E D講習
- 10月 推進委員会（11月行事の会議）
- 11月 住民交流事業（11/3ふれあい交流会、11/23/バザー&作品展）
地区防災避難訓練及び各避難所運営訓練
- 12月 オアシスだより発行
1月 新春のつどい
2月 青色防犯パトロール連絡協議会
3月 ウォーキング&クリーンキャンペーン
地域別編引き大会



△編引き大会（ウォーキング & クリーンキャンペーン）

<短期目標>

- ▶声かけ運動の推進
- ▶各イベントの実施
- ▶バザーの収益金を活動費の一部に充てる。
- ▶地域福祉行動計画の作成

<中期目標>

- ▶金橋防災防犯連絡協議会との連携による、災害時における防災体制の確立
- ▶高齢者の見守り活動の実施

新沢小学校区



あいさつで 心をつなぐ 豊かなまち“新沢”

<活動カレンダー>

- 4月 屋外サロン、挨拶運動
- 5月 総会
- 6月 草木染実習、さつまいも植え
- 9月 挨拶運動
- 10月 ふれあいin新沢、ふれあいサロン運動会（園児との交流）
- 11月 高齢者一日入学講座、園児と花壇に花の植え込み
千羽鶴委託式
- 12月 餅つき、しめなわ作り、ハンギング（菓牡丹）
- 1月 世代間交流（昔の生活や遊びの体験）
- 2月 伝統文化体験（お茶会）
- 3月 挨拶運動、お別れ会（子ども教室）



△青色防犯パトロールの出発式

<短期目標>

- ▶地域福祉ボランティアの募集
- ▶新沢小学校区人材バンクの活用
- ▶情報発信の強化
- ▶防犯・防災活動の強化
- ▶地域ケアシステムの推進
- ▶飛鳥との連携によるニューツーリズム（修学旅行の民泊）の取組みの強化
- ▶ふれあい交流会の実施

<中期目標>

- ▶新沢千塚古墳群公園施設との協働活動
- ▶集客施設の活用・地域の活性化
- ▶若者が参加できる新たなイベントの実施
- ▶人材の育成
- ▶地域の特色（特産物等）を創り出す。